



車を運転する前に

車を運転する前に必要な各部の開閉、調整、点検
について説明しています。

■ 車体各部の開閉

キー	82
電波式リモコン ドア ロック	84
キーレス アクセス	86
ドアの開閉	95
盗難警報装置	98
リヤ ゲート	102
ボンネット	104
フューエル リッド	106
パワー ウィンドウ	109

■ 車体各部の調整

ルーム ミラー	113
電動格納式ドア ミラー	113
電動格納式ヒーター ドア ミラー	115
チルト ステアリング	115



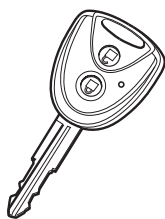
車体各部の開閉

キー

キーはエンジンの始動や停止のほか、ドアの施錠、解錠など車を操作するためにはなくてはならない物です。大切に管理してください。

電波式リモコン ドア ロック 装着車

メインキー



スペアキー



アドバイス

- スペア キーは、いざというときのために予備として使用してください。
- メイン キーは 4 枚まで設定することができます。ご購入方法、ご使用方法についてはスバル販売店にご相談ください。

メイン キーの取り扱い

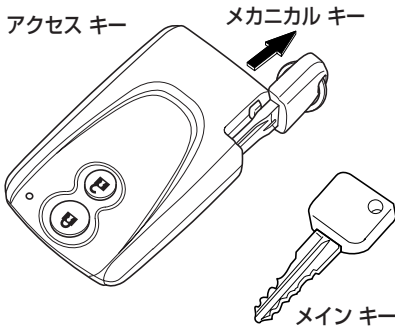
- メイン キーには精密な電子部品が組み込まれています。故障の原因となりますので下記のことをお守りください。
 - 直射日光や高温下に放置しない
 - 落とすなどして、強い衝撃や圧力を加えない
 - 水にぬらしたり、ゴミ、ほこりなどが入らないようにする

航空機に乗るときは

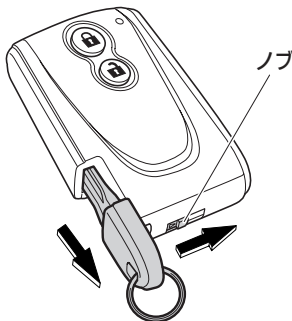
- 航空機にメイン キーを持ち込む場合は、航空機内で“LOCK”、“UNLOCK”のボタンを押さないでください。また、かばんなどに保管する場合でも、簡単にボタンが押されないように保管してください。ボタンが押されると電波が発信され、航空機の運行に支障をおよぼすおそれがあります。



キーレス アクセス装着車



○メカニカルキーの取り出しかた
アクセスキーのノブを矢印の方向にスライドさせたまま、アクセスキーから、メカニカルキーを引き抜きます。



アドバイス

- メカニカルキーは必ずアクセスキーに格納し、メインキーは、大切に保管しておいてください。アクセスキーは電池の消耗などにより、突然使用できなくなることがあります。
- アクセスキーとメインキーはそれぞれ最大4枚（合わせて8枚）まで設定することができます。ご購入方法、ご使用方法についてはスバル販売店にご相談ください。

キーの取り扱い

- アクセスキー・メインキーには精密な電子部品が組み込まれています。故障の原因になりますので、下記のことを守り、取り扱いには注意してください。
- アクセスキーをズボンなどの後ろポケットに入れない
- 直射日光や高温下に放置しない
- 落とすなどして、強い衝撃や圧力を加えない
- 水にぬらさない
- 分解をしない
- 超音波洗浄機などにつけない
- 磁気を帯びたキーホルダーなどを付けない

航空機に乗るときは

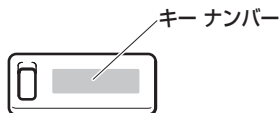
- 航空機にアクセスキーを持ち込む場合は、航空機内で“LOCK”、“UNLOCK”のボタンを押さないでください。また、かばんなどに保管する場合でも、簡単にボタンが押されないように保管してください。ボタンが押されると電波が発信され、航空機の運行に支障をおよぼすおそれがあります。



車を運転する前に 車体各部の開閉

キー ナンバー プレート

お客様以外にキー ナンバーがわからないように、キーではなくプレートにキー ナンバーを打刻してあります。



- プレートは車両以外の場所に大切に保管してください。
- 万一キーを紛失したときは、キー ナンバーをスバル販売店にご連絡いただければ、指定キーを作ることができます。

電波式リモコン ドア ロック

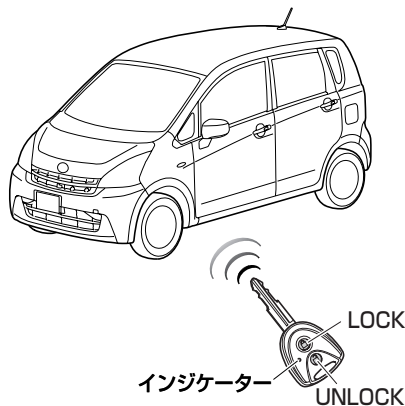
オプション/グレード別装備

メイン キーのボタンを押すことで、ドアの施錠、解錠ができます。

▼ 操作方法

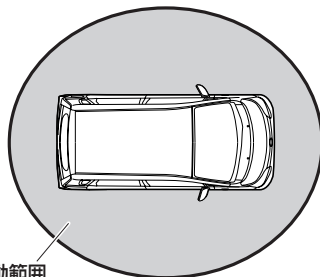
ドアが施錠された状態で、メイン キーの“UNLOCK” ボタンを押すと、インジケーターが1回点滅し、すべてのドアは解錠されます。

“LOCK” ボタンを押すとインジケーターが1回点滅し、すべてのドアは施錠されます。



▼ 作動範囲

車両中心から周囲約3m以内です。



作動範囲
車両中心から周囲約3m以内



📖 アドバイス

- 車を離れるときは、ドア ハンドル、またはリヤ ゲート ハンドルを引き、確実にドアが施錠されていることを確認してください。
- メイン キーのボタンは、凸側が“LOCK”、凹側が“UNLOCK”になっています。

施錠、解錠ができない状況

- キーがエンジン スイッチのキー挿入口に差し込まれているとき
- いずれかのドアが開いているとき

施錠、解錠ができないおそれのある状況

- メイン キーと車両中心の距離が約 3m 以上離れているとき
- 近くにTV塔や発電所、放送局など強い電波を発生する設備があるとき

電池の消耗について

- メイン キーの電池寿命は、1 日 10 回乗降時で約 2 年です。
- ボタンを押しても作動しない場合や、著しく作動可能距離が短くなった場合、またはインジケーターが点滅しなくなった場合は、電池の消耗が考えられます。早めに電池を交換してください。

(キーの電池交換→ 281 ページ)

自動ロック機能

- ドアが解錠されたあとにドアの開閉を行わなかった場合は、約 30 秒後に自動ですべてのドアが施錠されます。

作動完了の確認方法

非常点滅灯と室内照明により、電波式リモコン ドア ロックの作動完了を確認することができます。

▼ 確認方法

ドアの施錠・解錠と連動して、非常点滅灯と室内照明（スイッチ付きはDOOR位置のとき）が下表の通り作動します。（アンサー バック）

これにより、電波式リモコン ドア ロックの作動完了を確認してください。

作動	部位	アンサーバック
LOCK時	非常点滅灯	1回点滅
	室内照明	減光し、その後消灯
UNLOCK時	非常点滅灯	2回点滅
	室内照明	約15秒間点灯

📖 アドバイス

- 非常点滅灯の点滅を停止、および室内照明の点灯時間を変更することができます。詳しくはスバル販売店にご相談ください。



車を運転する前に 車体各部の開閉

キーレス アクセス

オプション/グレード別装備

アクセス キーを所持するだけで、キーを取り出すことなく下記の操作ができます。

- ドアの施錠、解錠
(キーレス アクセス操作→ 89 ページ)
- エンジンの始動、停止 (イモビライザー機能付)
(エンジン スイッチ→ 157 ページ)
(イモビライザー機能→ 164 ページ)

また、アクセス キーのボタンを操作して、ドアの施錠、解錠をすることができます。

(電波式リモコン ドア ロック
→ 90 ページ)

アドバイス

アクセス キーの所持について

- アクセス キーは必ず運転者が所持し、管理してください。エンジン回転中は通信を停止するため、特にキーを紛失しやすくなります。
- アクセス キーは、人体に影響しない程度の微弱な電波を使用しています。

システムが作動しないおそれのある状況

- 近くに下記のような強い電波を発生する設備があるとき
 - TV塔
 - 発電所
 - 放送局
 - 電光掲示板
 - ガソリン スタンド
 - コイン パーキング
- 無線機や携帯電話などの無線通信機器やポータブル オーディオ、または他車のアクセス キーと一緒に携行したとき
- アクセス キー本体が金属製の物と接しているとき
- アクセス キーの電池が消耗しているとき

電池の消耗について

- アクセス キーの電池寿命は、1日10回程程度の乗降で約2年です。(アクセス キーは車両との通信のために常に受信動作をしているため電池を消費しています)

ただし、アクセス キーのボタン操作 (ドアの施錠・解錠) の使用頻度が高い場合、またはアクセス キーの保管状況によって著しく電池寿命が短くなるおそれがあります。



👉 アドバイス

電池の消耗について

- アクセス キーの電池の残量を確認できます。

(電池の残量確認→ 281 ページ)

- 下記のような強い電波を発するおそれのある機器の近くや車内、または車両の近くにアクセス キーを置かないでください。アクセス キーが常時通信状態になり、電池が著しく消耗します。

- テレビ
- オーディオ
- パソコン
- ACアダプター
- 携帯電話、コードレス電話
- 充電器
- 電気スタンド
- 低周波治療器などの医療用電気機器
- 液晶表示器
- モーター類
- ボタンを押しても作動しない場合や、著しく作動可能距離が短くなった場合、またはインジケーターが点滅しなくなった場合は、電池の消耗が考えられます。早めに電池を交換してください。

(キーの電池交換→ 281 ページ)

アクセス キーが使用できないときは

- 電池の消耗などによりアクセス キーが使用できないときは、メカニカルキー、またはメイン キーを使用してください。

(アクセス キーが使用できないとき
→ 277 ページ)

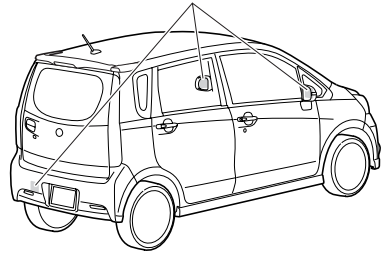
アンテナ

車両のアンテナから発せられる電波をアクセス キーが感知することによって、キーレス アクセスが作動します。

▼ 車室外アンテナ

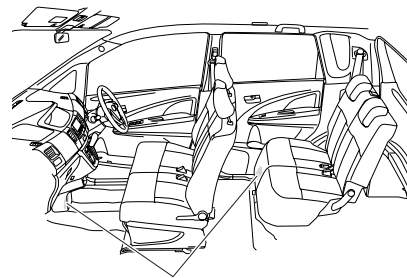
ドア ミラー左右と助手席側リヤ バンパー付近にあります。(3カ所)

アンテナ



▼ 車室内アンテナ

インストルメント パネル中央とリヤ シート中央付近にあります。(2カ所)



アンテナ



車を運転する前に 車体各部の開閉

⚠警告

植込み型心臓ペースメーカー、および植込み型除細動器を使用されている方へ

- 車室外アンテナ・車室内アンテナから約 22 cm以内に近づかないようにしてください。電波により、植込み型心臓ペースメーカー、および植込み型除細動器の作動に影響をあたえるおそれがあります。
- 車室外アンテナ・車室内アンテナから約 22 cm以内に近づかなければ、電波による影響を受けるおそれはありませんが、不要な電波の発信を避けるため、アクセスキーは、必ず運転者が所持したまま乗車してください。また、電池の消耗などにより、アクセスキーで操作できないときは、アクセスキーを所持していない状態と同じですので、注意してください。
(アクセスキーが使用できないとき → 277 ページ)
- 植込み型心臓ペースメーカー、および植込み型除細動器以外の医療用電気機器を使用されている方は、電波による影響について、医療用電気機器製造業者などに事前に確認してください。電波により、医療用電気機器の作動に影響をあたえるおそれがあります。

📵アドバイス

アンテナの電波について

- アクセスキーを所持していない状態では、車室外アンテナは常に電波を発しています。
- アクセスキーを所持していない状態で、ドアを開閉すると、車室外アンテナ・車室内アンテナから電波が発されます。
- アンテナから発する電波を停止（キーレスアクセスを停止）させることもできます。詳しくは、最寄りのスバル販売店にご相談ください。
- アンテナから発する電波を停止させたときは、プッシュエンジンスイッチにアクセスキー、またはメインキーを接触させなければエンジンを始動できません。（電波式リモコンドアロックによるドアの施錠・解錠は行えます）
(電源の切り替え、エンジンのかけかた → 279 ページ)

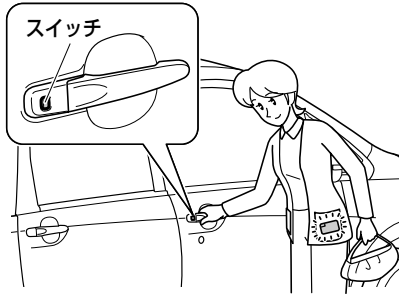


ドアの施錠、解錠

○キーレス アクセス操作

アクセス キーを所持して作動範囲内に入り、フロント ドア ハンドル、またはリヤ ゲート ハンドル下側のスイッチを押すと、すべてのドアが施錠、解錠されます。

フロント ドア

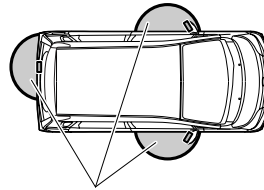


リヤ ゲート



▼ 作動範囲

各フロント ドア ハンドル、およびリヤ ゲート ハンドルから周囲約 80cm以内です。



作動範囲
ドアハンドル、リヤゲートハンドル
から約80cm以内

📌 アドバイス

- 施錠、解錠するときは、フロント ドア ハンドル、またはリヤ ゲートのスイッチを確実に押して施錠・解錠されたことを確認してください。スイッチを早押しした場合、施錠・解錠がされないことがあります。

作動範囲について

- 周囲の状況により、作動範囲が変化することがあります。
- アクセス キーが各ドアの作動範囲内であれば、アクセス キーを所持している人以外でも、スイッチで施錠・解錠ができます。





車を運転する前に 車体各部の開閉

👉 アドバイス

施錠・解錠ができない状況

- 電源が“ACC”、または“ON”のとき
- いずれかのドアが開いているとき

施錠・解錠ができないおそれのある状況

- アクセス キーの所持のしかたにより、キーレス アクセス操作をしても施錠・解錠がされない場合があります。
- 下記のような場合は、アクセス キーが作動範囲にあっても、正常に施錠・解錠がされない場合があります。
 - アクセス キーをドア ガラスやドア ハンドルに近付けすぎたとき
 - 地面の近く、もしくは高い場所にアクセス キーがあるとき

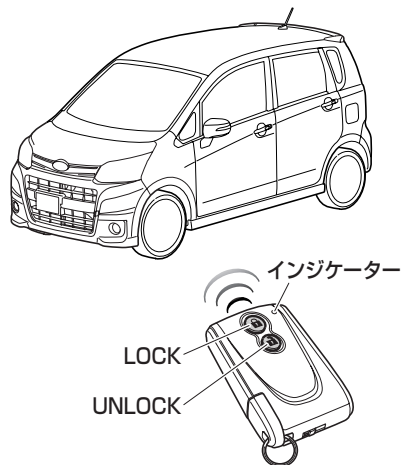
自動ロック機能

- ドアが解錠されたあとにドアの開閉を行わなかった場合は、約 30 秒後に自動ですべてのドアが施錠されます。

○電波式リモコン ドア ロック

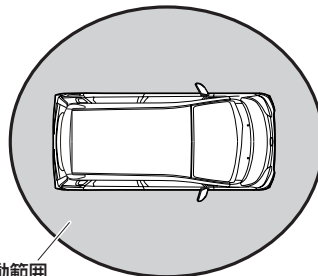
ドアが施錠された状態で、アクセス キーの“UNLOCK” ボタンを押すと、インジケーターが 1 回点滅し、すべてのドアが解錠されます。

“LOCK” ボタンを押すとインジケーターが 1 回点滅し、すべてのドアが施錠されます。



▼ 作動範囲

車両中心から周囲約 3m 以内です。



作動範囲
車両中心から周囲約 3m 以内



👉 アドバイス

- 車を離れるときは、ドア ハンドル、またはリヤ ゲートハンドルを引き、確実にドアが施錠されていることを確認してください。

施錠・解錠ができない状況

- 電源が“ACC”、または“ON”のとき
- いずれかのドアが開いているとき

施錠・解錠ができないおそれのある状況

- アクセス キーと車両中心の距離が約3m以上離れているとき
- 近くにTV塔や発電所、放送局など強い電波を発生する設備があるとき

自動ロック機能

- ドアが解錠されたあとにドアの開閉を行わなかった場合は、約 30 秒後に自動ですべてのドアが施錠されます。

○ 作動完了の確認方法

非常点滅灯と室内照明とブザーにより、キーレス アクセス操作・電波式リモコン ドア ロックの作動完了を確認することができます。

▼ 確認方法

ドアの施錠・解錠と連動して、非常点滅灯と室内照明（スイッチ付きはDOOR位置のとき）とブザーが下表の通り作動します。（アンサー バック）

これにより、キーレス アクセス操作・電波式リモコン ドア ロックの作動完了を確認してください。

作動	部位	アンサーバック
LOCK時	非常点滅灯	1回点滅
	室内照明	減光し、その後消灯
	ブザー	1回
UNLOCK時	非常点滅灯	2回点滅
	室内照明	約15秒間点灯
	ブザー	2回

👉 アドバイス

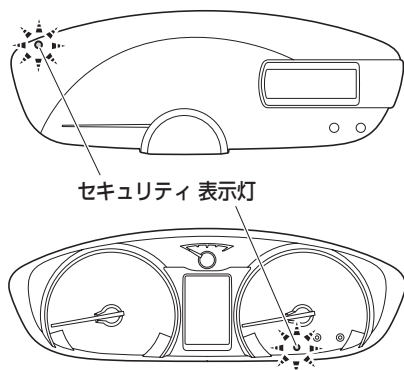
- 非常点滅灯の点滅を停止、および室内照明の点灯時間とブザーの音量を変更することができます。詳しくはスバル販売店にご相談ください。



車を運転する前に 車体各部の開閉

警告ブザー、メーター表示 による警告

キーレス アクセスでは、誤操作や車両の盗難を防ぐために、警告ブザーとセキュリティ表示灯で警告を行います。



セキュリティ表示灯

○アクセス キー持ち出し警告
電源が“ACC”、または“ON”のときに、いずれかのドアを開けてアクセス キーを車外に持ち出してドアを閉めると、車内で「ピピピピピ」、車外で「ピッピッピッ」と警告ブザーが鳴るとともに、セキュリティ表示灯が高速点滅し、車内にアクセス キーがないことを警告します。

▼対処方法

アクセス キーを所持して乗車してください。

⚠注意

- アクセス キーを車外に置いたまま、運転席ドアを一度開けてから閉めたときも、同様の警告が行われることがあります。

📖アドバイス

- 窓からアクセス キーを車外に持ち出したときは警告は行われません。



○電源切り忘れ警告

電源が“ACC”、または“ON”のときに、キーレス アクセス操作でドアを施錠すると、車外で「ピーッ」と警告ブザーが鳴り、電源の切り忘れを警告します。

▼対処方法

電源を“OFF”にして、ドアを施錠してください。

○アクセス キー置き忘れ警告

車内にアクセス キーが放置された状態で、キーレス アクセス操作でドアを施錠すると、車外で「ピーッ」と警告ブザーが鳴り、アクセス キーの置き忘れを警告します。

▼対処方法

アクセス キーを所持して、ドアを施錠してください。

○半ドア警告

いずれかのドアが開いているとき（半ドア警告灯が点灯時）に、キーレス アクセス操作・電波式リモコン ドア ロックでドアを施錠すると、車外で「ピーッ」と警告ブザーが鳴り、ドアが開いていることを警告します。

▼対処方法

すべてのドアを閉めて、ドアを施錠してください。

○アクセス キー閉じ込み警告

車内にアクセス キーが放置された状態で、キーを使用しないで車外から運転席のドアを施錠すると、車外で「ピーッ」と警告ブザーが鳴り、アクセス キーの閉じ込みを警告します。

同時にすべてのドアが解錠されます。

（車外からキーを使用しない施錠
→ 96 ページ）

▼対処方法

アクセス キーを所持して、ドアを施錠してください。

○アクセス キー電池消耗警告

電源を“OFF”にしたときに、車内で「ピッピッピッ」と警告ブザーが鳴り、アクセス キーの電池の残量が少ないことを警告します。

▼対処方法


アクセス キーが使用できなくなる前に、新しい電池と交換をしてください。

（キーの電池交換→ 281 ページ）



車を運転する前に 車体各部の開閉

○警告一覧

警告ブザー		セキュリティ 表示灯	何をしたときに 鳴りましたか？	対処方法
車内	車外			
ピピピピピ	ピッピッピッ	 高速点滅	ドアを閉めたとき	電源が“ACC”、または“ON”のときに、アクセスキーを車外に持ち出しています。 アクセスキーを所持して乗車してください。
—	ピーッ	—	フロントドアハンドル、またはリヤゲートハンドル下側のスイッチを押したとき	電源が“ACC”、または“ON”になっています。 電源を“OFF”にして、ドアを施錠してください。 いずれかのドアが開いています。 すべてのドアを閉めて、施錠してください。 アクセスキーを車内に置き忘れていました。 アクセスキーを所持して、ドアを施錠してください。
			車外からキーを使用しないで運転席ドアを施錠しようとしたとき	アクセスキーを車内に置き忘れていました。 アクセスキーを所持して、ドアを施錠してください。
			アクセスキーの“LOCK”ボタンを押したとき	いずれかのドアが開いています。 すべてのドアを閉めて施錠してください。
ピッピッピッ	—	—	電源を“OFF”にしたとき	アクセスキーの電池残量が少なくなっています。 新しい電池と交換してください。



ドアの開閉

▼操作を行う前に

⚠警告

- ドアの開閉は確実に行ってください。
ドアが確実に閉まっていないと、走行中にドアが開き、思わぬ事故につながったり、運転者や同乗者、または荷物が車から投げ出されるおそれがあります。
- 走行中は絶対にドアを開けないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ドアを開けるときは、周囲の安全を十分確認してください。いきなり開けると後続車にぶつかるおそれがあり危険です。風が強いときは特に注意してドアを開けてください。
- 車から離れるときは、法的にも義務付けられていますので、必ずエンジンを止め施錠してください。無人で車が動き出したり、車両盗難のおそれがあります。
- お子さまに各ドアの開閉をさせたり、いたづらをさせないでください。思わぬ事故の原因となるおそれがあります。
- ドアを閉めるとき指などを挟まないように注意してください。

📖アドバイス

- ドアを施錠している場合でも、車を離れるときは貴重品などは車の中に置いたままにしないでください。

電波式リモコン ドア ロック による施錠、解錠

(電波式リモコン ドア ロック
→ 84 ページ)

キーレス アクセスによる 施錠、解錠

(キーレス アクセス→ 86 ページ)

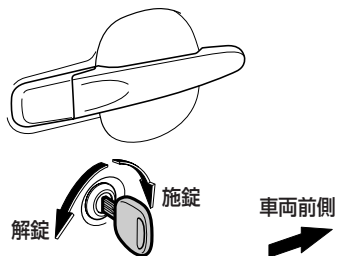




車を運転する前に 車体各部の開閉

車外からキーによる施錠、解錠

キーを確実に差し込んでから回します。
キーを車両前側に回すと施錠され、後ろ側に回すと解錠されます。



アドバイス

- ドアのキー挿入口は助手席側には設定していません。

盗難警報装置がセットされている場合

- 電波式リモコン ドア ロック（またはキーレス アクセスの電波式リモコン ドア ロック・キーレス アクセス操作）以外でドアを解錠してドアを開けると、盗難警報装置の警報が作動します。
- 盗難警報装置の警報が作動した場合は、1 次警報ブザーが作動している 10 秒間に、警報を停止させてください。
(警報の停止方法→ 101 ページ)
- 10 秒以上経過すると、2 次警報のホーンが鳴りはじめますので、ご注意ください。

車外からキーを使用しない施錠

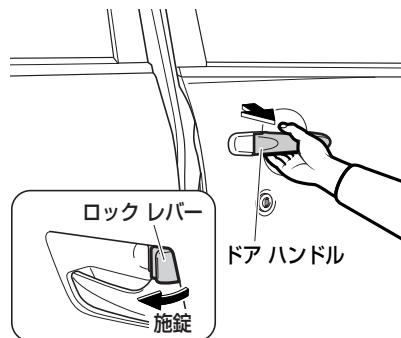
アドバイス

- キーを車内に置き忘れないようにしてください。不注意によりキーを車内に閉じ込めてしまう場合があります。
- キーを使用せずにドアを施錠するときにはキーを手に持っていることを確認してからドアを閉める習慣を身に付ければ、車内にキーを閉じ込めてしまうことを防止できます。

○フロント ドア

▼操作方法

ロック レバーを押し込み、ドア ハンドルを引いたままドアを閉めて施錠します。



○リヤ ドア

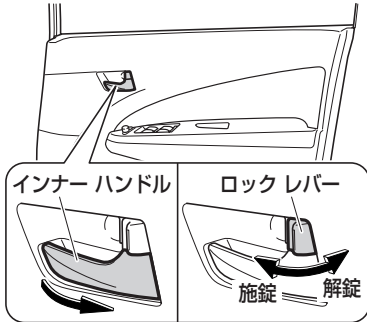
▼操作方法

ロック レバーを押し込み、ドアを閉めて施錠します。



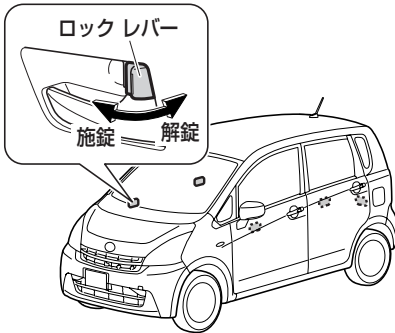
車内からの施錠、解錠

ロック レバーを押し込むと施錠できます。
ロック レバーを手前に引くと解錠でき
インナー ハンドルを引くとドアが開きます。



○集中ドア ロック

運転席ドアのロック レバーを操作すると、
連動して助手席ドア・左右リヤ ドア・リ
ヤ ゲートが施錠、解錠されます。



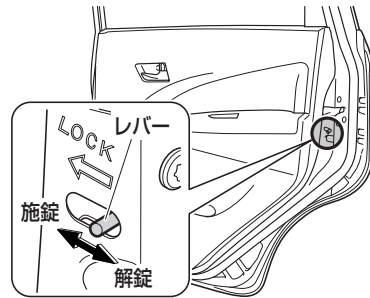
チャイルド プルーフ

お子さまの安全のため、チャイルド プル
ーフを左右リヤ ドア後部に設けています。

▼操作方法

レバーを“施錠”側にしておくと車内の
ドア ハンドルを引いてもドアを開かなく
することができます。

ドアを開けるときは、車外のドア ハンド
ルで操作します。



⚠注意

- お子さまを後部座席に乗せるときは必
ずチャイルド プルーフを使用してく
ださい。



車を運転する前に 車体各部の開閉

キー抜き忘れ警告ブザー

プッシュ スタート装着車を除く

エンジン スイッチにキーが差し込まれているとき“LOCK”または“ACC”の位置で運転席のドアを開けるとブザー（断続音）が鳴り、キーの抜き忘れを警告します。

盗難警報装置

盗難警報装置は、すべてのドアを閉め、電波式リモコン ドア ロック（またはキーレス アクセスの電波式リモコン ドア ロック・キーレス アクセス操作）でドアを施錠した場合に、盗難に対する警戒を開始します。

電波式リモコン ドア ロック（またはキーレス アクセスの電波式リモコン ドア ロック・キーレス アクセス操作）以外の操作でドアを開けると、警報を発して周囲に異常を知らせます。

アドバイス

- 盗難警報装置は、周囲に異常を知らせる機能です。室内への侵入を防ぐ機能はありません。
- ほかの方にお車を貸したときや、盗難警報装置の作動について知らない方が運転するときは、盗難警報装置について十分ご説明ください。
盗難警報装置の作動について知らない方が操作を誤った場合、警報が作動し周辺への迷惑になります。
- たとえ盗難警報装置をセットしていても、現金や貴重品は車内に放置しないでください。

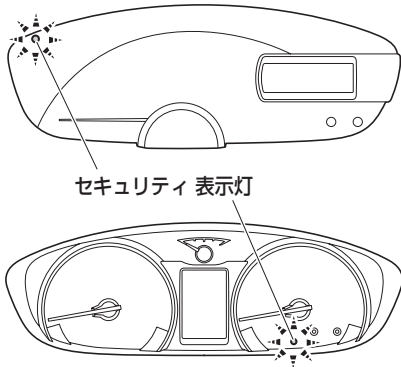


盗難警報装置のセット方法

すべてのドアを閉め、電波式リモコン ドア ロック（またはキーレス アクセスの電波式リモコン ドア ロック・キーレス アクセス操作）でドアを施錠すると、セキュリティ表示灯が点灯し、セットを開始します。

30 秒後にセットが終了し、盗難警報装置は警戒状態になります。

警戒中は、セキュリティ表示灯が点滅します。



アドバイス

- 電波式リモコン ドア ロック（またはキーレス アクセスの電波式リモコン ドア ロック・キーレス アクセス操作）以外の操作でドアを施錠した場合、盗難警報装置はセットされません。（電波式リモコン ドア ロック・キーレス アクセスの自動ロック機能で施錠された場合は、セットされません）
- セキュリティ表示灯が点灯してから 30 秒以内に下記の操作をした場合、盗難警報装置のセットは中断されます。
 - 運転席ドアを解錠したとき
 - ドアを開けたとき
 - 電波式リモコン ドア ロック装着車で、キーがエンジン スイッチのキー挿入口に差し込まれたとき
 - キーレス アクセス装着車で、電源を“ON”にしたとき

キーレス アクセス装着車の場合

- セキュリティ表示灯は、イモビライザー機能と兼用しているため、盗難警報装置を解除しても、電源を“ACC”にするまで消灯しません。また、電源を“ACC”から“OFF”にすると点滅します。



車を運転する前に 車体各部の開閉

警戒中の作動

警戒中に電波式リモコン ドア ロック（またはキーレス アクセスの電波式リモコン ドア ロック・キーレス アクセス操作）以外でドアを開けると、警報が作動します。（1次警報）

この間、警報が解除されなかった場合、さらに警報が作動します。（2次警報）

アドバイス

- 警報作動中にドアを閉めても、警報は停止しません。
- 警報終了後、ドアを閉めると、盗難警報装置が再び警戒状態になりますが、施錠はされません。お車を離れる際は確実に施錠してください。

○ 盗難警報装置警報

▼ 1次警報

- セキュリティ表示灯が点滅
- 非常点滅灯が 10 秒間点滅
- 室内ブザーが 10 秒間断続して鳴る

▼ 2次警報

- セキュリティ表示灯が点滅
- 非常点滅灯が 30 秒間点滅
- 室内ブザーが 30 秒間断続して鳴る
- ホーンが 30 秒間断続して鳴る

盗難警報装置の解除方法

下記のいずれかの操作で盗難警報装置のセット（警戒状態）を解除できます。

- 電波式リモコン ドア ロック（またはキーレス アクセスの電波式リモコン ドア ロック・キーレス アクセス操作）でドアを解錠する
- 電源を“ON”にする

アドバイス

- 盗難警報装置は、車内に人が乗っているときや、ドア ウインドウ ガラスが開いているときにも作動します。盗難警報装置を誤作動させないために、車内に人が乗っているときや、ドア ウインドウ ガラスが開いているときは、盗難警報装置をセットしないでください。



警報の停止方法

下記のいずれかの操作で警報を停止できます。

電波式リモコンドアロック装着車

- メイン キーの“LOCK”、または“UNLOCK” ボタンを押す
- エンジン スイッチを“ON”の位置にする

キーレス アクセス装着車

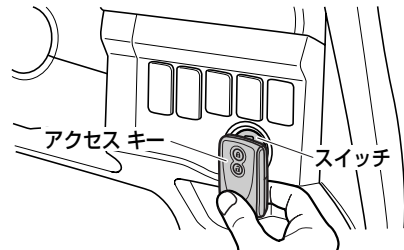
- アクセス キーの“LOCK”、または“UNLOCK” ボタンを押す
- 電源を“ON”にする
- アクセス キーを所持して乗車する

○アクセス キーが使用できないとき
電池切れなどにより、アクセス キーが使用できないときは、キーをプッシュ エンジン スイッチに接触させて、警報を停止してください。

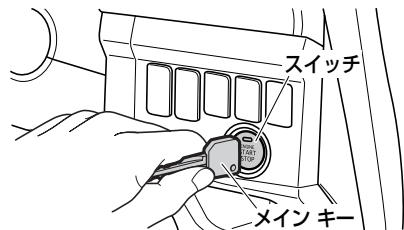
▼操作方法

1. ブレーキ ペダルを一度踏んで離します。
 2. ブレーキ ペダルを離してから約4秒以内に、キーを図のようにプッシュ エンジン スイッチに接触させます。キーが認識されると、警報が停止します。
- アクセス キーは、裏面のスバル マーク付近をスイッチの中心に接触させます。

アクセス キー



メイン キー





車を運転する前に 車体各部の開閉

盗難警報装置の作動履歴の確認

盗難警報装置のセット中に警報（2次警報まで作動した場合のみ）が作動したことを確認することができます。

▼確認方法

電源を“ON”にすると、室内ブザーが「ピーッピッ」と鳴り、2次警報まで作動したことを知らせます。

アドバイス

- 作動履歴の確認は、2次警報作動後、1回のみ行うことができます。

盗難警報装置の メンテナンスについて

盗難警報装置のメンテナンスは不要です。

注意

- 盗難警報装置の改造や取り外しをしないでください。システムが正常に作動しないおそれがあります。

リヤ ゲート

▼操作を行う前に

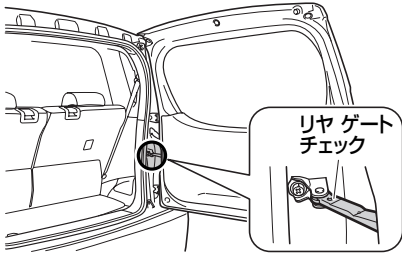
注意

- リヤ ゲートを開けたときは、ドアが確実に開いていることを確認してください。不十分な開けかたではリヤゲートが不意に閉まるおそれがあります。特に傾斜した場所では、リヤゲートの開閉がしにくい場合があります。平坦な場所で開閉を行ってください。
- リヤゲートを開けてカーゴルーム内で作業するときは、リヤスポイラーやルーフアンテナの先端部に顔や頭をぶつけないように注意してください。
- リヤゲートを閉めるときにほかの人の手などを挟まないように注意してください。
- リヤゲートを閉めたときはリヤゲート端部などを持ってドアを軽くゆすり確実にロックされていることを確認してください。走行中にドアが開くと大変危険です。また、荷物が道路に落下するなど思わぬ事故につながるおそれがあります。
- リヤゲートからの乗り降りはいししないでください。思わぬ事故の原因となります。
- エンジンをかけた状態でリヤゲートから手荷物を出し入れをするときは排気管の後ろに立たないようにしてください。衣服が汚れたり、排気ガスにより体に悪影響をおよぼすおそれがあります。



⚠注意

- リヤゲートを開けたときに、リヤゲートチェックにふれないください。手や衣服が汚れるおそれがあります。
- リヤゲートを開閉するときは、リヤゲートチェックに手や荷物を挟まないように注意してください。



車内からの施錠、解錠

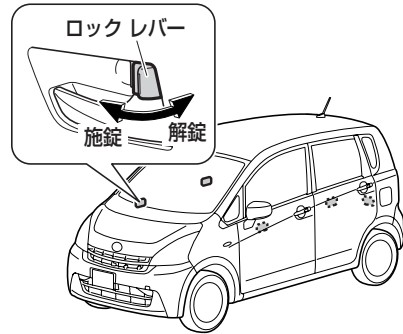
○リヤゲート連動集中ドアロック
運転席ドアのロックレバーを操作すると、連動してリヤゲートが施錠、解錠されます。このとき助手席ドア、リヤドアも同時に施錠、解錠されます。

▼施錠方法

運転席ドアのロックレバーを押し込むと施錠できます。

▼解錠方法

運転席ドアのロックレバーを手前に引くと解錠できます。



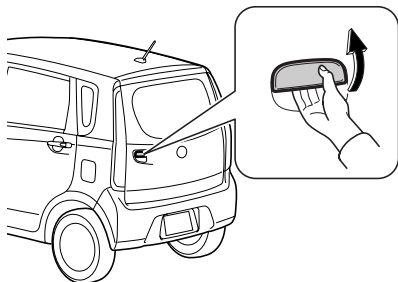


車を運転する前に 車体各部の開閉

リヤ ゲートの開閉

▼開けるとき

解錠したあとでリヤ ゲート ハンドルを
引き上げるとドアが開きます。



▼閉めるとき

リヤ ゲートを静かに手で押さえ、そのま
ま閉めます。

ボンネット

▼操作を行う前に

⚠警告

- エンジン ルームは大変高温になっ
ていることがあるため、下記のことをお
守りください。
- やけどをするおそれがありますので、
点検するときは、十分に冷めてから行
ってください。
- 点検したあとは、エンジン ルーム内
に工具や布を置き忘れていないことを
確認してください。点検や清掃に使用
した工具や布などをエンジン ルーム
内に置き忘れてしまうと、故障の原因と
なったり、車両火災につながるおそれ
があり危険です。

⚠注意

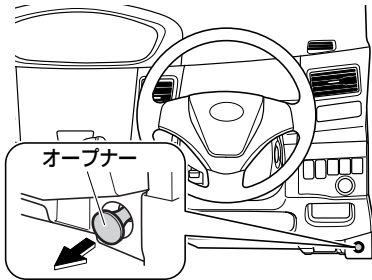
- ボンネットを閉めたあとは、ボンネッ
トが確実にロックしたことを確認して
ください。ボンネットが確実に閉まっ
ていないと、走行中に開くおそれがあ
り大変危険です。
- ボンネットを開けているとき風にあお
られるとステーが外れボンネットが不
意に閉まるおそれがあります。特に風
の強い日はご注意ください。
- お子さまにボンネットの開閉はさせな
いでください。ボンネットは大変重
く、開閉中うっかり手を離すとかわぬ
けがにつながるおそれがあります。



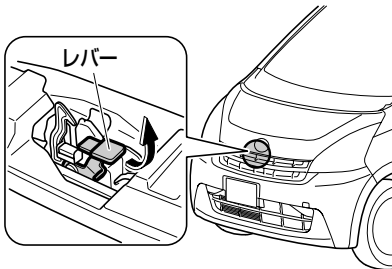
開けかた

▼操作手順

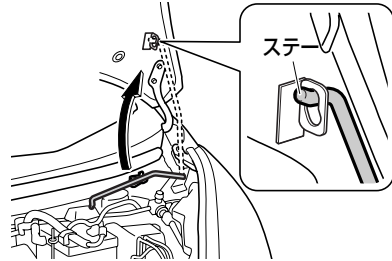
1. インstrument パネル右下のオープナーを手前に引くと、ボンネット前部が少し浮き上がります。



2. ボンネット前部中央にあるキャッチフックのレバーを矢印の方向に引き上げ、もう一方の手でボンネットを持ち上げます。



3. ボンネットをステーで確実に支えます。



⚠注意

- エンジン回転中や停止直後は、ステーが熱くなっていることがあります。やけどや思わぬ事故につながるおそれがありますので、ステーを持つ前に必ず確認してください。
- ステーを確実に固定穴に差し込んでください。ステーが外れると大変危険です。

👉アドバイス

- ワイパーを起こしたままでボンネットを開けると、ワイパーがボンネットに当たり、傷付くことがあります。

⚠注意

- エンジン回転中や停止後は、レバーが熱くなっていることがあります。やけどや思わぬ事故につながるおそれがありますので、レバーを持つ前に必ず確認してください。



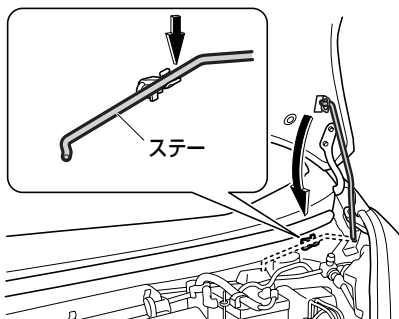


車を運転する前に 車体各部の開閉

閉めかた

▼ 操作手順

1. ボンネットを片手で支えて、ステーを元の位置へ戻します。



2. ボンネットを静かに下げ、手で押さえるようにして閉めます。

📞 アドバイス

- ボンネットを閉めるとき、手で強く押さえずぎないでください。

フューエル リッド

▼ 操作を行う前に

⚠️ 警告

- 燃料は引火しやすいため、下記のことを守らないと火災につながり、やけどなど重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- エンジンは必ず止めてください。
- 車のドア、窓は閉めてください。
- タバコを吸うなど、火気を近づけないでください。
- フューエル キャップを開ける前に、必ず車体または給油機などの金属部分に触れて、身体の静電気除去を行ってください。身体に静電気を帯びていると、放電による火花が引火するなどして、やけどのおそれがあります。
- フューエル キャップを開けるなどの給油操作は、必ず静電気除去を行った方お一人で行ってください。
- 給油中に再び車内のシートに触れたり、座ったり、また人や物に触れると再帯電する場合があります。このようなときは再び給油機などの金属部分に触れて静電気除去を行ってください。
- フューエル キャップを開ける際は、必ずキャップのツマミ部分を持ち、ゆっくりと開けてください。気温が高いときなどは燃料タンク内の圧力が高くなり、給油口から燃料が吹き返すおそれがあります。



⚠警告

- フューエル キャップを少しゆるめた時に「シュー」という音がする場合は、それ以上開けずに、その音が止まるのを確認してからゆっくりと開けてください。
- 給油中に燃料がこぼれた場合はただちに給油を止め、こぼれた燃料を布きれなどでふき取ってください。
- こぼれた燃料が車の塗装面に付着した場合は水洗いをおすすめします。付着したまま放置すると、塗装面が劣化するおそれがあります。
- 給油口にほかの人を近付けないでください。
- 給油するときは、給油口にノズルを確実に挿入してください。また、オートストップ作動後の継ぎ足し給油は行わないでください。給油口から燃料が吹きこぼれるおそれがあります。
- 給油機によっては、早期にオートストップが作動して正常に給油できない場合があります。ガソリンスタンドの係員を呼んで指示に従ってください。
- 給油終了後、フューエル キャップを閉める場合「カチッ」という音が一度するまで右に回し、確実に閉まっていることを確認してください。
- スバル指定フューエル キャップ以外は使用しないでください。燃料漏れなどを起こすおそれがあり危険です。
- その他ガソリンスタンド内に掲示されている注意事項を守ってください。
- 燃料には、人体に有害な発ガン性物質を含んでいる物もありますので、燃料の気化ガスを吸わないようご注意ください。

⚠注意

- 指定燃料は無鉛レギュラー ガソリンです。
- 給油時に、指定されている燃料であることを確認してください。
- 指定以外の燃料（粗悪なガソリン、アルコール系燃料、軽油、灯油など）を使用すると、エンジンの始動性が悪くなったり、ノッキングや出力の低下などが発生する場合があります。また、そのまま利用していると、エンジンや燃料系部品を損傷するおそれがあります。



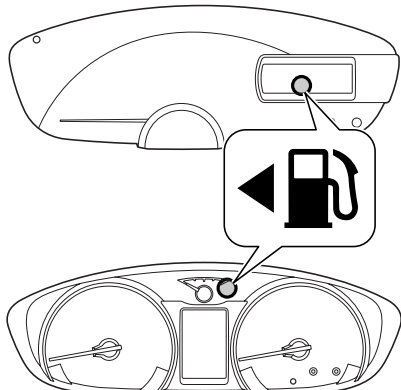


車を運転する前に 車体各部の開閉

フューエル リッドの開閉

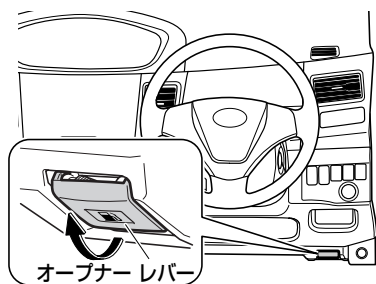
アドバイス

- メーター内にフューエル リッドの車両取り付け方向を示しています。



▼開けるとき

インストルメント パネルの右下にあるフューエル リッド オープナー レバーを引き上げます。



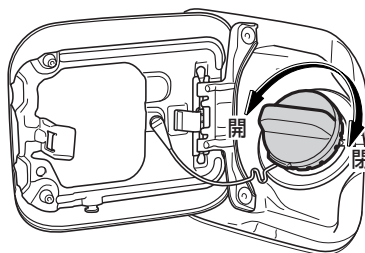
▼閉めるとき

リッドを押して閉めます。

フューエル キャップの開閉

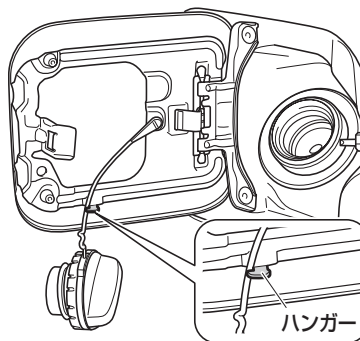
▼開けるとき

左に回して開けます。



▼給油するとき

外したフューエル キャップをフューエル リッド裏側にあるハンガーにかけておくことができます。



▼閉めるとき

「カチッ」という音が一度するまで、右に回して閉めます。



パワー ウィンドウ

スイッチ操作により運転席、助手席、後席のウィンドウの開閉ができます。

▼操作を行う前に

⚠警告

- パワー ウィンドウは大変強い力で開閉しますので、開閉するときは、ほかの人の手・腕・頭・首などを挟んだり巻き込んだりしないよう注意してください。重大な傷害を受けるおそれがあります。
- お子さまにパワー ウィンドウの操作をさせないでください。開閉するとき、手・腕・頭・首などを挟んだり巻き込んだりして、重大な傷害を受けるおそれがあります。お子さまを乗せているときは、ロック スイッチを“OFF” にしてください。

👉 アドバイス

- 運転席スイッチとほかのスイッチを同時に逆方向へ動かさないでください。故障の原因となるおそれがあります。
- ウィンドウを完全に開閉した状態でスイッチを押し続けると故障の原因となりますので、操作完了後はすぐに手を離してください。
- パワー ウィンドウの開閉はなるべくエンジン回転中に行ってください。エンジン停止時に行くと、バッテリーあがりの原因になります。
- ガラスが凍りついて固着したような状態でウィンドウ スイッチの“開”または“閉”を連続操作しないでください。故障の原因となります。
- 電源を“ON”にすると、ウィンドウスイッチのマークが点灯します。

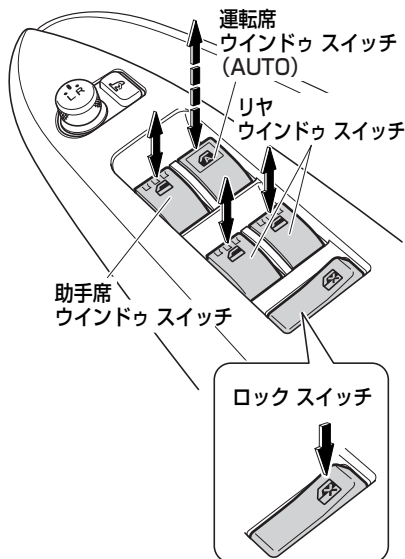




車を運転する前に 車体各部の開閉

運転席ドア側スイッチ

電源が“ON” のとき、使用できます。



○運転席 ウィンドウ スイッチ (AUTO)

▼操作方法

スイッチを軽く押し下げている間ウィンドウ ガラスは開き、軽く引き上げている間ウィンドウ ガラスは閉まります。手を離すと、その位置で止まります。「カチッ」と音がするまで押し下げる、または引き上げるとウィンドウ ガラスは自動的に全開、全閉します。途中で止めるときは、軽く逆方向にスイッチを操作します。

○助手席 ウィンドウ スイッチ

▼操作方法

スイッチを押し下げている間ウィンドウ ガラスは開き、引き上げている間ウィンドウ ガラスは閉まります。手を離すと、その位置で止まります。

○リヤ ウィンドウ スイッチ

▼操作方法

スイッチを押し下げている間ウィンドウ ガラスは開き、引き上げている間ウィンドウ ガラスは閉まります。手を離すと、その位置で止まります。

○ロック スイッチ

▼操作方法

スイッチの右側（マークの付いている方）を押すと“OFF” になり、運転席ウィンドウ ガラス以外は操作できなくなります。

スイッチの左側（マークのない方）を押すと解除されます。

👉 アドバイス

- スイッチを押して“OFF” にすると、助手席ドア側スイッチ・リヤ ドア側スイッチのマークも消灯します。



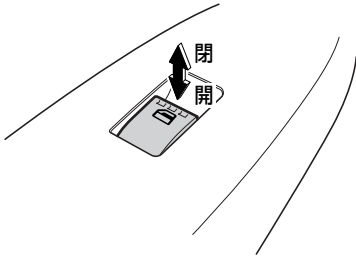
助手席・リヤ ドア側スイッチ

電源が“ON” のとき、使用できます。

▼操作方法

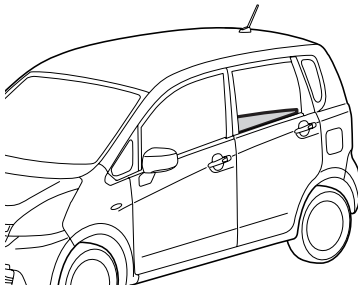
スイッチを押し下げている間ウィンドウガラスは開き、引き上げている間ウィンドウガラスは閉まります。

手を離すと、その位置で止まります。



📖 アドバイス

- 後席左右のドア ウィンドウは全開になりません。



ウィンドウ反転機構（運転席）

運転席ウィンドウ ガラスを閉めるときに、窓枠とウィンドウ ガラスの間に異物の挟み込みを感知すると、ウィンドウ ガラスの上昇を停止し、自動的にウィンドウ ガラスが下降します。

📖 アドバイス

- ウィンドウ反転機構は下記のとくに作動します。
- 運転席ウィンドウ ガラスの開閉をスイッチにより自動（AUTO）で閉めているとき
- 特に小さな物を挟み込んだとき、ウィンドウ反転機構が作動しないことがあります。
- 環境や走行条件により、異物を挟み込んだときと同じ衝撃がウィンドウ ガラスに加わると、ウィンドウ反転機構が作動することがあります。



車を運転する前に 車体各部の開閉

初期設定

バッテリー交換やヒューズ交換などで、バッテリーとの接続が断られたときは、パワー ウィンドウの初期設定をしてください。

パワー ウィンドウの初期設定がされていないと、下記の機能は作動しません。

- 運転席ウィンドウ ガラスの自動開閉
- ウィンドウ反転機構（運転席）

▼ 操作手順

1. 電源を“ON”にします。
2. 運転席ウィンドウ スイッチを引き上げ続け、ウィンドウ ガラスを全閉します。
3. 全閉後そのままの状態です約2秒間スイッチを引き上げ続けます。



車体各部の調整

ルーム ミラー

▼操作を行う前に

⚠注意

- 調整は必ず走行前に行ってください。

▼調整のしかた

手でルーム ミラーの角度を調整します。



電動格納式ドア ミラー

ミラーの格納、角度調整をスイッチまたはノブの操作で行うことができます。

電源が“ACC”または“ON”のときに使用できます。

▼操作を行う前に

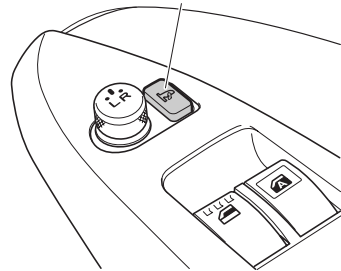
⚠注意

- ミラーの操作を行う際は、ドアとミラーの間に手を挟まないように注意してください。
- ミラーを倒したまま走行しないでください。ミラーによる後方確認ができず事故につながるおそれがあります。

▼格納のしかた

ミラー格納スイッチを押すと、ミラーを格納することができます。もう一度押すと元に戻ります。走行するときは、必ず元に戻してください。

ミラー格納スイッチ

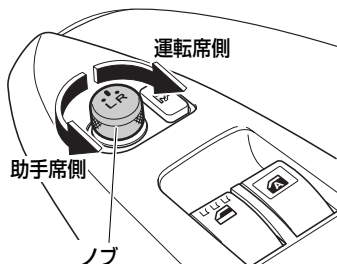




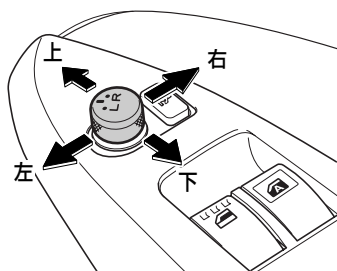
車を運転する前に 車体各部の調整

▼調整のしかた

1. ノブを調整する側にまわします。



2. ノブを動かして、ミラーの角度を調整します。



⚠注意

- 調整は必ず走行前に行ってください。

👉アドバイス

- 調整するとき以外は、調整ノブを中立（中央）の位置に合わせておいてください。
- 調整ノブを中立（中央）の位置にすると操作することができません。

オート格納式ドア ミラー (キーレス アクセス連動)

キーレス アクセス装着車

ドアの施錠と連動して、ミラーが格納されます。

▼格納のしかた

フロント ドア ハンドル、またはリヤ ゲート ハンドル下側のスイッチを押すか、アクセス キーの“LOCK” ボタンを押してドアを施錠します。

(キーレス アクセス→ 86 ページ)

▼元に戻すときは

電源を“ACC”または“ON”にします。

⚠注意

- ミラーを元に戻すときは、ドア ミラー周辺に障害物がないことを確認してください。ドア ミラーが当たり、破損するおそれがあります。

👉アドバイス

- 下記のように、オート格納式ドア ミラーの機能を変更することができます。詳しくは、スバル販売店にご相談ください。
- キーレス アクセスとの連動機能を停止する
- 電源を“ON”にしたときのみ、ミラーを元に戻すようにする（ミラー格納スイッチの操作も、電源を“ON”にしたときのみ可能になります。）



電動格納式ヒートド ア ミラー

オプション/グレード別装備

曇り取り機能を装備した電動格納式ドアミラーです。

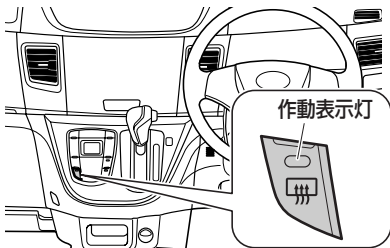
雨天時などに、ドアミラーが曇ったとき、ドアミラーの曇りを取ることができます。

(電動格納式ドアミラー→ 113 ページ)

▼操作方法

リヤウインドウデフォグスイッチを押すと、作動表示灯が点灯し、ドアミラーが暖められ曇りが取れます。

作動を停止するときは、リヤウインドウデフォグスイッチをもう一度押してください。作動表示灯も消灯します。



📢 アドバイス

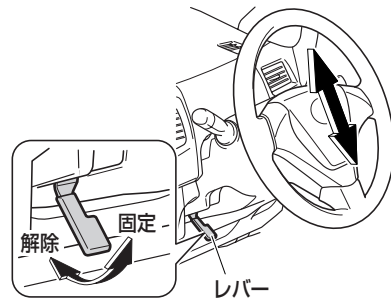
- エンジンを止めた状態で長時間使用しないでください。バッテリーあがりの原因になります。

チルト ステアリング

ハンドルの位置を調整することができます。

▼調整のしかた

レバーを押し下げ、ハンドルを上下に動かして適切な位置に調整します。その状態でレバーを引き上げると固定されます。



⚠️ 警告

- 走行中はハンドル位置の調整をしないでください。運転を誤り思わぬ事故の原因となるおそれがあり危険です。
- ハンドル位置の調整をしたあとは、確実に固定されていることを確認してください。固定が不十分だとハンドル位置が突然変わり、思わぬ事故の原因となるおそれがあり危険です。



